

平成 18 年 4 月 箭山会福岡支部便り

BEST FRIENDS

No.5

<http://www1.bbiq.jp/yayamakai/>

ベスト フレンズ

箭山会福岡支部

支部長 市丸 幸子

〒 811-1346

福岡市南区老司 3-48-6

TEL 092-566-4713

事務局長 渡辺 隆

編集責任者 熊埜御堂 康輝



箭山神社神幸祭



箭山会福岡支部の平成 17 年度の活動状況

月/日	行事など	場 所	参加者など
4月21日	第10回福岡北九州支部ゴルフ会	ユーアイ GC 宗像	参加者 24 名
5月21日	第37回福岡支部総会	ソラリア西鉄ホテル	参加者 50 名
5月28日	関東支部創立 55 周年記念総会	日立金属高輪輪廻館	福岡から祝電
9月10日	北九州支部総会	このみクラブ	参加 9 名 (福岡)
10月1日	関西支部総会	ハートンホテル心斎橋	福岡から祝電
10月25日	第11回福岡北九州支部ゴルフ会	若宮ゴルフクラブ	参加者 24 名
11月5日	秋の菊鹿温泉旅行	山鹿市菊鹿温泉	参加者 15 名
11月12日	箭山会本部総会	吉富亭	参加 7 名 (福岡)
12月17日	沖代会	アークホテル博多	参加者 21 名
2月3日	IT分科会	相部宅	参加者 3 名

役員会

5月10日	6月10日	7月16日	12月17日	1月28日
じゃんくう 10名 総会準備	アークホテル 9名 新役員と行事計画	山鹿市 5名 旅行下見	アークホテル 15名 活動報告機関紙	市丸宅 14名 次回総会ほか

本部・各支部・会

本部支部名	会長・支部長	所在地	事務局長
箭山会本部	松屋徳造 (35 回生)	中津市母校	宮本美治郎 (44 回生)
関東支部	花水正平 (39 回生)	横浜市	宿利敏夫 (36 回生)
関西支部	村上太志 (44 回生)	大阪市	森重 武 (39 回生)
北九州支部	森 誠二 (37 回生)	北九州市	渡辺健司 (43 回生)
星窓会	山本幸夫 (39 回生)	中津市	



福岡支部総会開く 福岡支部長 市丸幸子 (38 回生)

第 38 回福岡支部総会は、平成 17 年 5 月 21 日 (土) ソラリア西鉄ホテルにて、本部・関西支部・北九州支部役員及び福岡支部の会員の方々多数のご出席を賜り、盛大に開催されました。この総会で福岡支部長の大役を拝命頂きました 38 回生の市丸でございます。どうぞ宜しくお願い致します。

あれから早いもので一年が過ぎようとしています。この一年の活動は別記の通りですが、事務局を要として、総会・ゴルフ会・旅行会・情報誌・ホームページ・沖代会



その他各部門の役員がそれぞれの責任分担の下、協力し実行する姿勢には心より感謝の気持ちで一杯です。今一番の課題は若い卒業生との連携ですが、役員一同意見を交換し色々努力しておりますが、なかなか成果に結びつかないのが現状です。今年 18 年は母校創立 90 周年です。この機会に新しい会員の方がお一人でも多く参加していただき、同窓会と言う心豊かなひとときを是非一緒できればとお待ち申し上げております。



箭山会福岡支部ホームページアドレス <http://www1.bbiq.jp/yayamakai/>

沖代会 懇親会

稲尾公朗 (40 回生)

去る平成 17 年 12 月 17 日 (土) 12:00 ~ アークホテル博多で恒例の沖代会が開かれました。沖代会会長の渡辺一敏様 (20 回生) のご発声により始め、往年の話に花を咲かせ和やかな懇親会となった。当日の午前中、福岡支部の役員会を開き、17 年度のまとめと 18 年度の総会について話し合い、

沖代会の懇親会に合流し、都合 21 名の参加者となりました。沖代会は 60 歳



喜寿を迎えられた 28 回生の方々



以上の希望者で構成され、今や殆どが対象者となる時代となったが、福岡支部を長年に亘り盛りたてて来られた方々もご高齢となられ、ご出席できることはお元気の証でもあります。今後もお元気でご長命をお祈りし、会場を別れた。



沖代会 会長 渡邊一敏
世話人 稲尾公朗

本部・各支部総会

熊埜御堂康輝 (38 回生)

箭山会本部総会は去る 11 月 12 日吉富亭にて盛大に開催。福岡支部より梶屋顧問、市丸支部長他 5 名参加。特筆すべきは、来年度の役員大幅に交代、まさに多士済々。来年 90 周年記念行事に向け準備が着々と進んでいる感です。パーティでの生演奏、プロ歌手、幹事総踊りなど盛り上がっていました。少子高齢化を憂慮の支部とは違い、人・物・金・規模が大きいので運営も大変

と思われました。箭山会北九州支部総会は、去る 9 月 11 日住友金属㈱内このみクラブで開催。福岡支部から梶屋顧問、市丸支部長、渡辺事務局局長始め 9 名参加。祇園太鼓無法松を若い女性陣多数で打ち叩き始まる。最後は、恒例のバナナのたたき売りで締められ、楽



↑北九州支部

↓関西支部



しく過ごさせて頂き漲る若さ、元気をもらいました。感謝です。箭山会関東支部は 5 月 28 日

↑本部総会に、箭山会関西支部は 10 月 1 日に、それぞれ総会が開催され、福岡支部からは祝電を送りました。星窓会からは会報誌「星窓のつどい」



(年 2 回発行) が送られてきましたので、その会報誌を縮小版で雰囲気をご紹介します。

四国八十八ヶ所巡礼紀行 ④ 大岐浜の波瀧頂

中川良一 (24 回生)

大岐浜の波瀧頂(*1)、四国巡礼路中、ここだけ素足で通れる遍路道であること、波瀧頂により故人の霊を慰める事が出来る、二点により急遽立ち寄ることに決めた。平成十一年五月九日、晴れのちうす曇り、中村民宿近くのバス停から8時21分のバスに乗り9時前後に港バス停に着く。近くのレストランの側道を通って海岸線の砂地に立つ。幅約2~300m延々と数軒先に続く、圧巻である。私は人影のない波打ち際の砂地に持参の金剛杖の穂先(般若経を彫っている)で若い身空で一人旅に旅立った亡妻、長男、両親、弟、親友などの名前をいつの間にか、只涙しながら書き刻んでいた片っ端から太平洋の波が、それら打ち消して沖に持って帰って故人を供養するとの事である。その繰り返しの動作に疲れた身体を砂地に腰降ろして一息つく瞬間懐かしのオジイチャンの声がした。「供養の事は、俺達に任せてお前は現世の事をシッカリやるんだぞ」と励ましの声であ



った。ハツとして沖合いの太平洋を凝視したがそこにはサーファーや上手に波乗りに興ずる若者の姿があるのみで何等変化なく、さらに心耳を集中したが変化はなく二度と、声に接することもなかった。海岸線を離れ、バス停を探し見つけ、程良くバスがやってきた。土佐清水行きであるバスに乗る。今日の巡礼路「山中径」の基点窪津港口バス停に土佐清水經由で向かった。(後記)波瀧頂が空海当時のままか分からない知らない。幾変遷したものか分からない知らない。ただ現在の四国巡礼の慣行に従って波瀧頂を行っただけである。四国巡礼中最も思い出の多い大岐の浜の波瀧頂であった>(*1)波瀧頂とは...浜辺の白砂に、金剛杖で御宝号や故人の名前や戒名を描き、祈り、それを満ちてきた波で洗い流して供養すること。別名、波供養とも言う。尚、大岐の浜は土佐清水市の東側長さ約2.5キロのきれいな砂浜です。



玄界灘の鳥賊釣 井上慎一 (37 回生)

2005年7月12日、熊兄のお世話になり待望のイカの夜釣に参加しました。福岡支部から吉井さん・熊埜御堂さん・渡辺さんに井上の4名、ほかにホンダの関係者を入れ合計9名の相乗りです。舟は能古島籍の怖い船長さんと若い息子2名がお世話係、午後6時、姪浜魚市場前を出港し、一路小呂島に向け走ること一時間、さらに津屋崎沖に着く頃には、夕日も落ち周りを漁火が囲うように点々と見え始めると釣り場です。船長がアンカーを投げ舟の固定が終わると、頭上には特大の水銀灯が20個ほどまばゆい光を放ちます。イカを集める集魚灯です。この光は電灯でありながら真夏の太陽のように日焼けします。私の顔の半分が日焼けし鼻の頭の皮が剥け、何ともはや良い顔になりました。船長の手釣り用の仕掛を貰い、海中へ第一投を入れます。イカ専用の錘のついた疑似餌2~3本の原始的な仕掛ですが、漁師が使うものです。よく釣れます。魚棚を測ってゆっくり手繰る。重くなる。期待を込めて海中を覗くと半透明のイカが上がって来る。ギョツと鳴いて水を噴く。釣上げさっと生簀に入れる。この動作にもたついてるとたちまちイカ墨を顔に掛けられます。みな顔や衣服を墨で汚しながら、あ

ちらでもギョツ、こちらでもギョツ、ギョツ・ギョツ・ギョツ。それエンヤトットとやっている内に、生簀は満杯になりました。この日は最近になく大漁だったようです。5時間ほど続けたでしょうか、釣れ過ぎて、さすがに全身綿のごとく疲れ果て、どこでも良いからごろんと寝たくなります。遠くの漁火を見ながら、午前1時頃、帰港です。何のためにやっているのかと思ったりもしますが、炎天下のゴルフと同じようにまた行きたくなくなります。この夜の釣果は一人当たり50尾以上、ヤレヤレ。この半分でも満足しますので2006年も熊さんよろしくお願ひします。みんなも行くべ。



箭山会ゴルフコンペで初優勝

城戸崎重夫 (47 回生)

去る平成 17 年 10 月 25 日、秋の箭山会福岡・北九州合同ゴルフコンペが若宮ゴルフクラブで開催されました。当日は秋晴れのゴルフ日和で天候に恵まれ、早朝 8 時 30 分の集合にもかかわらず中津地区からも多数、参加され総勢 24 名予定通り集合され、スタート前には事務局よりルール説明及び初参加者の自己紹介あり、クラブハウス前で集合写真を撮り、9 時に久恒会長の恒例の始球式でスタートしました。私の一打は緊張と力の入りすぎでフェアウェイをキープできず、罰金の罠にはま



りましたが、それが幸いし、肩の力が抜けて、その後は大きなトラブルも無く、高校時代の恩師、クラブ活動、体育祭などの懐かしい思い出を語りながら白球を追い続け各ホールを回ることができました。スコアは 100 を切ることはできませんでしたが、結果は運よく (ダブルペリア方式) 優勝することができました。夜の表彰式と懇親会では、会長はじめ参加者全員から祝酒を受け、優勝の感動の余韻を残し床に着き楽しい一日を過ごすことができました。事務局の方々ありがとうございました。合同ゴルフコンペには 2 年前より毎回参加しています。当、ゴルフコンペは年の差が上下 20 歳近くありますが年の差を感じさせない、参加者全員が高校生時代の気分になり、気楽にプレーができるゴルフコンペです。これからも健康維持を図るため、当合同ゴルフコンペには参加していきますので宜しくお願いいたします。追伸、当ゴルフコンペの会に色々とお世話して頂いた 42 回生の山下喜生さんが平成 18 年 1 月 31 日に永眠されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。なお、春の合同ゴルフコンペは 4 月 21 日ユーアイゴルフクラブ宗像で開催され、優勝はゴルフ協会長の久恒喜成氏 (28 回生) でした。



日時	平成 17 年 4 月 21 日 (木)	平成 17 年 10 月 25 日 (火)
場所	ユーアイゴルフ宗像 24 名	若宮ゴルフクラブ 24 名
優勝	久恒喜成 (福岡 29 回生)	城戸崎重夫 (福岡 47 回生)
準優勝	矢野賢三 (北九 40 回生)	中野洋介 (北九 38 回生)
3 位	山下義生 (北九 42 回生)	桑原正毅 (北九 37 回生)

秋の菊鹿温泉旅行

世話人：谷川和子 (38 回生)

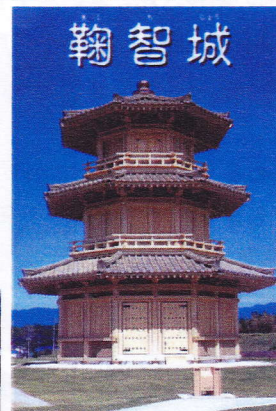


福岡支部企画の旅行同好会は 4 回目を迎え、去る平成 17 年 11 月 5 日 (土) 15 名のご参加をいただき秋の菊鹿温泉へバスの旅に出かけました。当日は、早朝からの雨が心配でしたが、山鹿市に着く頃には晴れ、平成の大修理を終えた八千代座は坂東玉三郎さんの歌舞伎公演中で、幟をバックに記念撮影。豊前街道の昔の面影を残す情緒ある街並を楽し

み、国史跡鞠智城 (きくちじょう) へ向いました。鞠智城は 7 世紀後半 (約 1,300 年前) に、大野城・水城の築城と同じ頃造られた山城で、これらの城に食料や武器、兵士などを補給する支援基地でした。珍しい八角の鼓楼が復元されて昔の繁栄が忍ばれました。いよいよお目当ての



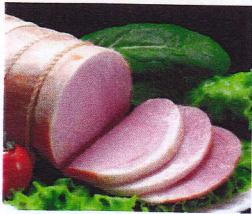
温泉「花富亭」へ、さっそく鄙びた山里を眼下にする露天風呂へ入り、美肌がさらに磨かれ旬のお料理に舌鼓です。今回は市丸さんの女性初の福岡支部長就任のお祝いを兼ね、中津・北九州の 38 回生もご参加いただき華やかな食事会となりました。紅葉狩りには、今一つ今年は早かったようですが、会員相互の親睦が図れたのではないのでしょうか。旅行会では、ご希望の観光地などありましたらご連絡をお待ちしています。



手造りロースハムの作り方

梶屋孝太郎 (33 回生)

- ① 豚のロース肉 1 Kg を買い、肉の余分な脂肪を取り丸く巻けるようにし、肉全体に金串を刺す。
- ② 粗塩 30 g、三温糖 10 g、ホワイトペパー、シナモン、ナツメグ、オールスパイス、オニオン、グローブ、セロリー、各 5 g をよく混ぜ合わせ肉にすり込む、ラップをかけ裏、表を返し、冷蔵庫で 1 週間ねかす。
- ③ 肉を流水で 2～3 時間塩抜きしペーパータオルか布巾で水気をふき取る。
- ④ 市販のハムのようにサラシで丸く形をととのえて、型くずれしないようにタコ糸でしばる、約 1 センチ幅にラセン状にかたくしばると良いでしょう。
- ⑤ 風通しの良い日陰で半日風乾する。
- ⑥ 風乾したらスモーカーに入れて温熱乾燥で 2 時間乾燥し、チップを入れ 60 度 C で 3 時間燻煙する。
- ⑦ 燻煙が終わった肉を鍋に入れて水から 75 度 C で 2 時間ボイルする。
- ⑧ ⑦を冷水で 30 分冷まします、以上で美味しいハムの出来上がりです。



【ハムづくりと塩】

「塩味を付ける」「保存性を向上させる」の他に以下の目的があります。

1. 保水力と結着力を向上させる
2. 肉の旨味を引き出す。

（おまけの話）

話は違いますが、その昔、陸軍の食料部門を担当していたある会社の社長の話によると「捕虜に脱走する気力をなくするマル秘のテクニックとして、食料は与えるが塩を与えない」という方法が軍隊にはあったそうです。最近では、塩の取りすぎに対する弊害をよく目にしますが、これは精製塩の場合の話であって、天然塩については逆にしっかりと取る必要がある... という説もあります。塩とは奥深い物ですね。

【ハムづくりと砂糖】

ハムづくりに砂糖は塩に次ぐ重要な役割があります。

- ① 風味の改良 三温糖を使うと強い甘みとコクを出す事ができます。（また、砂糖は加熱に対して肉の蛋白質と反応して風味



を強めるとも言われています）

- ② 肉質を柔らかくする 砂糖は塩とは逆に水分を吸収し、そのまま離さないという性質があり

③ 乳酸発酵を促す サラミづくりなど乳酸発酵を期待する場合には糖類は重要な役割を担います。

- ④ その他 焼き豚を漬け込む際の醤油には砂糖を多く使いますが、これは焼き豚の焼き色をよくする働きがあります。

【美味しさの秘密・脂肪】

ハム・ソーセージの美味しさの秘密に「脂肪」があります。

ハムは一般的に適度な脂肪がある方が美味しいですし、ソーセージも赤身肉だけで練り合わせて作るとばさばさしてまるで美味しくありません。また、その際使用する脂肪は豚の背脂肪が最適とされています。

（豚の背脂肪の融点は人間の体温に近い）



【我が国のハムづくりのはじまり】

日本で最初に食肉加工品が渡来したのはポルトガル船が種子島に漂着した時で、これを契機に鉄砲やカステラ、南蛮料理などと一緒に伝えられました。しかし、その後の徳川幕府の鎖国政策によって海外交易は長崎出島だけとなり（出島ではオランダ人の手によってハムは作られていたと思われませんが）その技術が日本人に伝えられたという記録は残っていません。

その後、明治維新によって肉食の風習が起り、あわせて食肉加工も行われるようになりました。文献に残っている我が国の食肉加工の歴史は長崎にはじまったといわれており、明治 5 年には長崎に巡幸された明治天皇にハムが献上されたという記録も残っています。（明治 5 年東京農事試験場、明治 9 年には札幌養豚場でハム試作の記録があります）



インドネシアへ植林の旅

矢頭 真一
(44 回生)

私が最近体験した『ラブ・グリーンの翼』(インドネシアへの植林ツアー：総勢三十二名)に参加したことを筆に纏めました。今月8月3日(水)昼に福岡国際空港発で、夕方バリ島のデンパサール空港に到着。翌4日(木)朝早くロンボック島に向かい、マタラム空港到着で歓迎を受ける。植林現場へ向かい、また現地の人や子供達から歓迎を受け、その小学生の子供さんと一緒にマホガイニを植林した。

昼食後、マラカ第一小学校へ訪問し、記念植樹や交流会を行なった。夜は地元の知名人とのウエルカムパーティを行い、現地の人達との交流を深めた。翌5日(金)早朝、植林地のスコトンへ向かった。干潮までの待ち時間もあり、南洋の素晴らしい珊瑚礁を見学(一部の人は水泳)した後、現地の子供達と一緒にマングローブの植林を行なった。翌6日は帰国の時間までの間、インドネシアの民芸店へショッピング、そしてバリ舞踊のケチャック・ダンスを見学して、帰路に着いた。今回参加して、インドネシアの現地の人達と一緒に植林出来た事、特に私達を手助けしてくれそして一生懸命に植える子供達の姿に心を打たれました。また、海の水がきれいな事、夜空

がきれいで南十字星を見たことも嬉しい事の一つです。尚、この国のゴミ処理の方法?の実態・アチコチ至るところに捨てている光景が目についたのも印象の一つです。

☆私が参加したラブ・グリーンの翼『ラブ・グリーンの会』とは!
明日の地球にもっと緑を!をテーマにラブ・グ

リーンの活動は次の3つの基本方針で成り立っています。

①環境問題への取り組み

②国際交流の促進

③青年の健全な育成

途上国の子供達に木

を植えてもらい、自

分の手で緑を守るこ

の大切さを身体で感

じ取ってもらうこと

と、また教育支援も

行うという民間のボ

ランティア団体です。

昨年は二十周年を

迎え、過去の植林活

動の参加者は1000

名を超え、植えた本

数は378,000本で

す。詳しくは私の説

明不足補完の為に

インターネットで

検索頂ければ幸す



還暦同窓会開く

富原常雄（46回生）

去る平成17年10月15日、中津東高等学校卒業第46回生は、還暦同窓会を別府市・ホテル白菊において、恩師川原先生・榎本先生・合林先生をお招きし、賑々しく開きました。卒業生186名中33名の参加でしたが、記念写真の通り赤いタオルを首にまき60歳を祝いました。逢えば卒業時の18歳に戻り、離ればなれの42年間を埋めるかのごとく、一晚中親兄弟以上に親しく話し込んでいました。正に還暦、これからの人生の区切りとして心の糧になれば幸いです。吉岡、池田氏を初め、忙しい時間をさいてお

世話してくださった方々に感謝いたします。



クリスマスコンサート♪

相部喜久代 (50回生)

NHK シャンソン教室のクリスマスは、毎年12月の第二月曜日に福岡サンパレスホテルに於いて開催されます。シャンソンには「人生の歓びと愛」があり、その魅力に惹かれ、晴れの舞台に立つのが我が福岡支部の支部長/市丸幸子さん(38回生)です。透き通る素晴らしい歌声は心の奥底まで響かせ、人々を魅了します。今年も応援に駆けつけた支部の仲間達もこの日ばかりはグラスを傾けながら静かに酔いしれていくのです。プログラムが進行し、市丸

何と楽しみにしているお客様が年々増えているように感じます。そして、一足早いクリスマスコンサートの最後は観客が一体になり「聖夜」の合唱で締め括ります。今年は12月11日、ご一緒に素敵な記念日を増やしませんか？

支部長の歌が始まると間もなく恒例の「さっちゃん!」と言う大きな掛け声が会場を轟かせ、華やいだ雰囲気”無限大”に盛り立てています。この掛け声・・



【市丸さん熱唱】
←先生と市丸さん

IT分科会

梶屋孝太郎 (33回生)

IT分科会の看板であります、ホームページも初めて登場して以来2年経過しました。今回は、このホームページの全面リニューアルを仰せつかり、現在、鋭意制作中でございます。今度のホームページは、こちら(IT委員会)から皆さんへの一方通行ではなくて、皆さんからもどんどん投稿して頂けるような掲示板を新たに組み込みます。またカウンターやアクセス解析も導入して、今後のホームページ作りに役立てて行きたいと思っています。そして皆様へお伝えする情報は、その掲載日を明記し、陳腐化しないよう常に最新の情報をお届けしようと目論んでおります。「こんな記事載せてよ」とか言ったお話は大歓迎です。今後とも暖かく見守っていただくと共に、応援宜しくお願い致します。



IT基地でホームページの更新。難問で思案中。
(梶田義富・相部喜久代)

福岡の名所旧跡 野村望東尼と平尾山荘

吉井陽二 (37 回生)

わが家近くに由緒ある平尾山荘がある。散歩道の一こまをご紹介します。 歌人野村望東(もと)(尼)が夫と隠棲した山荘である。夫をなくした望東は尼となったが、幕末の国情に心を痛め、勤皇の志に燃えた。山荘には高杉晋作、平野國臣ら藩内外の志士

【事務局からのお知らせ】
名所旧跡紹介は、会員の方々の足元にある名所旧跡をご紹介しますシリーズです。奮ってご応募をお待ちします。写真撮影等の必要があれば可能な限りお伺いします。ご紹介下さい。



がひそかに集まり、話し合う場所となった。望東尼は志士たちを励まし、この山荘にかくまった。(福岡市中央区平尾3丁目2 旧住所名: 筑紫郡八幡村)



役員会

クラブ名	卒	役職	氏名	分担	卒	役職	氏名	分担
総会懇親会	38	支部長	市丸 幸子	総括	44	幹事	梶田 義富	余興責任者
	38	副支部長	熊埜御堂康輝	役員会議長	46	幹事	富原 常雄	G 幹事
	40	副支部長	稲尾 公朗	沖・G 世話人	47	幹事	城戸崎重夫	ベストフレンズ
	41	副支部長	瀧上 憲司	総会責任者	50	幹事	相部喜久代	IT 基地管理者
	37	幹事	井上 慎一		52	幹事	中野久米夫	
	38	幹事	谷川 和子	旅行世話人	55	幹事	武末 和子	
	39	幹事	井口 慶子		55	幹事	三好 一正	
	41	幹事	江副 節子		58	幹事	中島 直人	
43	幹事	大木 敦夫						
監査	34	顧問	吉井 陽二	会計監査				
沖代会	20	会長	渡邊 一敏		40	世話人	稲尾 公朗	
ゴルフ会	28	会長	久恒 喜成		46	幹事	富原 常雄	
	40	世話人	稲尾 公朗					
IT 分科会	33	会長	梶屋孝太郎		44	幹事	梶田 義富	HP 責任者
					50	幹事	相部喜久代	IT 基地管理者
旅行会	38	世話人	谷川 和子		37	幹事	井上慎一	
ベストフレンズ	38	編集責任者	熊埜御堂康輝		50	幹事	相部喜久代	
俳句会	43	責任者	渡辺 隆		47	幹事	城戸崎重夫	
事務局	43	事務局長	渡辺 隆		47	幹事	城戸崎重夫	

【新役員紹介】



三好一正 (55 回生・昭和 48 年卒)
出身地: 中津市山国町
住まい: 福岡市南区長住
勤務先: 個人タクシー経営
趣味: 旅行・パトミントン



中島直人 (58 回生・昭和 51 年卒)
出身地: 中津市耶馬溪町
住まい: 粕屋郡新宮町
勤務先: 九電久留米住宅電化 G
趣味: バレーボール・ドライブ



文芸広場

詩

「異郷の灯」・(二十歳前の感傷)

渡邊 一敏 (20 回生)

一. 雪の広野を汽車は行く
吹雪舞い散る興安嶺を
異郷の果てに夢を持ち
胸の鼓動を抑へつつ
小さな駅に震え立つ

二. 広野の駅に凍え立ち
夜空の星を眺むれば
七つの星は瞬きぬ
迎へのトロイカ鈴ならし
馬の嘶き心にしみる

三. ホロンバイルにほど近き
草原に立つ綿羊の
牧場にありて春過ぐす
照らすランプと月明り
遠くでロバが鳴いていた

短歌
井口 慶子 (39 回生)
少年の声して物言う孫の顔ひたいに
見ゆるニキビのいくつ

俳句
佐藤 建一 (38 回生)
学童のバイバイの声うらうらら
夏草の刈られて歩道伸びにけり
伸びすぎて打ち払われし蓼紅葉

フラインダーの捉ふ祖母山秋澄めり
枇杷の花外灯灯りはじめけり

熊埜御堂康輝 (38 回生)

山鳴や杉は花粉の狼煙上げ
地震の山砂塵立つごと杉花粉
春大根洗へば地震の池濁り
地震ゆれて畑打ちのただ呆然と

市丸 幸子 (38 回生)

たたずめば枯野につづく空青し
音もなく散ゆく牡丹華やかし
白魚の味はう間もなくのど通り

矢頭 眞一 (44 回生)

熱燭や友と語る夜時刻忘れ
初詣今年も同じ願い事

渡辺たか志 (43 回生)

女名の真っ赤な幟小正月
早春のひよどりの声縦横に
平仮名のつくしと見ゆる白魚汁
白魚築打ちて大潮待たれけり
海からの風まつすぐに白魚築

文芸の広場では、
皆さんからの投
稿をお待ちして
います。

